



こうべ森の学校だより

No.79

2017年11・12月号

発行人：こうべ森の学校 編集委員会

発行所：神戸市北区山田町下谷上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel: 078-371-5937 Fax: 078-371-1087

神戸学院大学附属中学校の体験授業

木下 英吉

少し肌寒いながらも、今の時期らしい気候となった11月16日(木)、今年ポートアイランドに開設された神戸学院大学附属中学校(中高一貫校)から64名(男子28名、女子36名)・引率教員5名が体験授業に訪れました。



活動前にストレッチ

テーマは、「神戸学」"神戸を知ろう"で、元気盛りで多人数の生徒を受入れるので、森学内で入念に打合せを重ね、18名のスタッフで臨みました。

「森の手入れ」・「自然観察」・「外国人墓地見学」を6班編成で午前・午後を3班ずつで入替り、全員が体験できる内容にしました。

全体スケジュール説明 → スタッフ紹介 → 森学代表及



森の手入れ 細かく集積

び森林整備事務所長から緑化の歴史や活動の説明 → 保全グループリーダーから作業内容や安全の説明 → ストレッチ体操 → 記念撮影後、それぞれのコース

へと出発です。「森の手入れ」は、3班で駐車場奥周りに分け入り、一方の3班は、「自然観察」・「外国人墓地見学」と2手に分られました。



森の手入れ トンカチで杭打ち 切り → 集積の一連作業を試みました。普段、鋏や鋸をあまり手にしないのに、スタッフから使い方を教わると呑み込みが早く、午後の班

では雰囲気慣れてきた!? こともあり、楽しそうに「もう1本切ってもいいですか?」と、もう次に目を向ける一コマも。



自然観察 目で・鼻で

「自然観察」は、修法ヶ原池周りを散策しながら、森の手入れが済んだ場所・未だ手が入っていない場所の違いを伝え、木や植物の特徴を目や鼻で実感しながら、分かり易い説明に聞き入っていました。

解散前、ある生徒に今日聞いた木の名前を尋ねると、5種類も答えてくれました。

「外国人墓地見学」は、整備事務所長に終日案内・説明を担っていただき、旧居留地～移転等の歴史から現在を説明。「へー!!」というような面持ちで聞いていた生徒も、洋菓子メーカー名にも由来しているお墓の前では、「知っている!! チョコや」と反応。



外国人墓地

終盤の墓地入口付近では、先の台風21号で根上がり状態で倒れた赤松の大株を見て、全員で改めて台風の影響を目の当たりにしました。

終了後、各班からは「活動の大切さを感じた」・「普段あまり経験できない作業が体験でき、良かった」・「また機会があれば、体験したい」等の感想が寄せられました。

全員、無事体験授業を終了し、新神戸駅方面に徒歩で帰途につきました。素晴らしい環境の中で自然に触れ、それぞれが“何か”を感じたことでしょう!! 参加スタッフも1日活動を共にして、若さと元気をたくさんいただきました。

森林ボランティア講座に参加して

米山 裕昭

森の学校のスタッフの方々から『県主催の森林ボランティアを養成する講座があるよ』と教えて頂き、是非参加したいと意気込んでの参加でした。

私が受講したのは森林ボランティア入門編です。平成29年度の講座は7月1日に開講されて10月15日までの土曜日に4回、最終日のみ現地泊となり合計1泊5日のコースでした。



座学

入門編に参加された人数は厳密に数えたわけでは有りませんが、60～70人程度だったと思います。多

くは私と同年代若しくは年上の方々でした。

講座の内容は座学の講義と森での実習です。講義は、防災・木材利用や里山林管理、シカやイノシシに対する獣害対策など、実習は森林整備で里山林除間伐、下草刈り、道具の手入れ、救急救命講習（AEDの使用方法について）。短期間ではありましたが内容が多岐に渡りいずれも興味深いものでした。



植栽

講義は講師の方々のボランティア経験を基に自然との関わり方を説明していただき、実習では班毎に分かれて森に入り作業を行いました。

間伐木の倒し方等で普段森の学校で実施している方法と少し違う部分もありましたが、その状況に応じて色々な手法がある事を学びました。



11月11日 例会の集合写真

特に印象深かったのがAEDの使用法の実習でした。最初は森林ボランティア講座なのになぜAEDなのか？と疑問に思いましたが、街中だけでなく山中での活動中に突発的な事故が発生した場合の講義を聞き、その重要性を知り今までAEDを見ても特に気に留め



森林ボランティア講座修了証

ることがなかった私が万一の時には積極的に使用したいと感じるようになりました。今回の講座で得た知識が作業を安全に行う上で、実践に生かしていければとも思っております。

最終日の懇親会で突然「森の学校の方ですよ」と声を掛けて頂きました。話を伺うと以前森の学校に一般参加されて、私と同じ1班で作業したとの事。森の学校で活動をする私を覚えていて頂いた事が非常に嬉しかったです。

また来年は、リーダー編を受講したいと考えております。

森学 図書係からのお願い

先日、本の台帳と書架の本を照らし合わせてたところ、下記の本が見当たりません。もし、お手元にお持ちの方は、書架の前に 返却用のダンボール箱を置いてありますので、その中に H29年12月28日（森学、本年の最終日）までにお返し願います。

背表紙番号	図書名
65・ぜ・370	森と木のこ
78・か・377	山の生活手帳
47・ふ・410	六甲山の花散歩
47・さ・413	花の図譜 秋
47・ば・414	夏の山野草と樹木
47・し・419	きのこ栽培マニュアル
09・ち・467	forest
46・お・6	里山図鑑
46・に・12	里山の自然と保護
46・に・13	小さな自然観察
65・ぜ・24	森づくりワークブック 人工林編
59・よ・99	家庭で作るクッキー
59・す・105	燻製づくり入門
38・え・168	ハウトウ カントリーライフ

宮城県名取市で祈念植樹と“ゆりりん愛護会”に支援金贈呈

木下 英吉

東日本大震災から6年9か月の月命日となる12月11日(月)、ひょうごボランティアプラザ(兵庫県社協のボランティア支援部門)の職員2名と東北ボランティアバスに参加している有志4名で、この6年間支援活動を続けている宮城県名取市に入りました。



全員で植樹



植樹後

また今年9月、名取市を拠点に海岸防災林の再生活動を続けている“ゆりりん愛護会”(震災前は、海岸防災林の保全活動を行っていた。津波で全滅した閑上海岸の



苗圃

防災林(黒松)から取った松毬を京都府で育て、地元苗圃に移植、元の場所に3,000本植栽するよう進めていた。途中、この事業が国・県主体で行うこととなり、

予め、植栽地の閑上地区・日和山を管理している神社の宮司に主旨を伝え、了解をいただいたうえで運びとなりました。当地区の住民が入居している2仮設住宅から14名集まっていたこと、NHK・共同通信社等マスメディアも様子を見守る中、黙祷の後、参加者全員の手で鎮魂と復興を祈念して“鎮魂と希望の桜(オオシマザクラ)”を植栽することができました。

閑上地区(黒松)から取った松毬を京都府で育て、地元苗圃に移植、元の場所に3,000本植栽するよう進めていた。途中、この事業が国・県主体で行うこととなり、

10月5・12日(土)に火入れ、1週間後窯出しのスケジュールで、2回実施しました。従来の経験を活かし、煙突出口の加工や材の入れ方・方向、燃焼時間、煙の色



材を詰めて

等も観察しながら工夫を重ねて臨みました。泊まり込みで温度・火の管理や、炭出しの折は、窯の中に潜り込み(今回、女性の会員さんも役目を買って出て)、鼻の周りが黒くなりながらも、再度炭・木酢液を例年並みに産出することができました。この成果品は、ログ前に陳列しているので、多くの方々に渡れば幸いです。2回目は、文

当初通りに行えなくなりました。また、苗圃は借用地で、来年3月中には所有者に返還しなければならず、6年が経ち大きく成長した松苗を内陸から海岸他に移植する必要に迫られている。)から、現在、仙台市荒浜地区や名取市有地等に急ピッチで植栽を行っているところで、掘起こしから搬送・移植に多額の費用が発生するため、協力を願いたいとの申し出がありました。



H25 植樹 荒浜



H29 植樹 荒浜

森学としても、これまで再生活動を支援し続けてきた経緯もあり、一助になればと、木工作品・炭等の売上げの一部を協力することとし、この日、同会の大橋会長に7度目の支援金を贈呈させていただきました。



会長に贈呈

同会長には以前から「是非一度、防災林の再生状況を見ていただきたい」と、強く伝えられていたが、今までは仮設住宅訪問時に支援金を贈呈していたので時間が取れず、ずっと気がかりでした。

今回、午前中2時間程会長の車でH25年植樹から現在の植樹現場を案内していただき、防災林再生の現状を伺い知ることができました。現場での説明の節々に、同会の再生にかけた熱い想いが伝わりました。

今年も炭焼きをしました

化祭に向けての日程でもありましたが、台風により文化祭は中止となり残念でした。森学としては「再度炭・木酢液ブランド」を維持・



女性会員も窯出しを

継承していくため、毎年試行錯誤しながら研鑽しているところで、今後も続けていきます。

基本的に火入れは、土曜日を充てていますので、多くの会員に、ノウハウを体験していただければと思います。



A・B級が32kg ずつ

■前々回・前回の報告

日付	参加者	司会	午後・森の手入れ	木工工作	自然観察	苗づくり
10月15日(日)	22名	中里さん	雨天のため実施せず	8名	7名	4名
11月11日(土)	37名	藤原さん	13名	10名	2名	5名

お知らせ・掲示板

■東お多福山・草原保全再生研究会



11月25日(土) 晩秋のネザサ全面刈りが行われました。2007年の活動開始から10年になります。

ネザサの刈り取りを続けることでススキをはじめ、スミレ、ササユリ、リンドウ、キキョウなど多くの植物が顔を出すようになりました。今回も茅葺屋根に使うためのススキを収穫することができました。今後も活動を継続して、環境学習の場として、また茅葺民家への茅の供給地として育てていくことを目指しています。

♠こうべ森の小学校 & 森のようちえん

次回の開催予定日は12月23日(土)
(問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

♠摩耶の森クラブ

次回の開催予定日は2月3日(土)
(問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

♠バスの運行

こうべ森の学校月例会には阪急バス61系統(神戸駅南口～鈴蘭台)をご利用ください。神戸駅南口バス停9時発のバスに乗り、水源池バス停で下車して徒歩25分で、こうべ森の学校「風楽山荘」に到着します。神戸市バス25系統(三宮～森林植物園)は12月から3月まで運休しております。

平成26年度から再度公園駐車場が無料開放されています。こちらをご利用ください。

編集後記 寒い日が続いていると思えば、冬至が5日後(22日)に出番を控えています。当日は運盛り(うんもり)ともいい、「ん」のつくものを食べると「運」が呼び込めるといわれています。人参・大根・蓮根・うどん・みかん…などを食し、縁起をかつぐようです。

今年の月例会は、雨模様の天候が多く、午前で切上げ

12月9日(土)2度目のネザサ全面刈りが行われました。前日から降り積もった雪のため、六甲山は銀世界。バスが運休するハプニングもありましたが、無事活動を行うことができました。次回の活動は3月24日(土)早春のネザサ全面刈りの予定です。



♠ボランティア保険に加入していますか

森の手入れの作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛け金は500円の負担で補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口はお住まいの市区町社会福祉協議会です。

会員活動の開催予定日

・月例会 1月13日(土)・2月18日(日)

午前中は全員で森の手入れを行います。午後は自然観察・木工・苗作り・森の手入れから選択していただきます。

・上記以外の火・木・土曜日も活動しています。

「こうべ森の学校」は、発足当初から物心両面にわたり伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて運営されています。

る月が続きましたね。また、台風21号の吹き返して、公園内の大木が数多く倒されました。このように、我々は自然と向き合い活動を続けているところですが、冬至には「ん」のつくものを食べて、来年の活動に運を呼び込みましょう!! 因みに、私は“熱燗”を離しません!!
(木下 英吉)